

当院眼科にて治療を受けている患者さんへ

治療データ提供のお願い

当科では通院されている方を対象に、加齢が緑内障に与える影響について研究を行うことになりました。

緑内障の患者数は高齢になるにつれて増えていき、高齢者の多い秋田県には約7万人の緑内障患者さんがいると考えられます。けれども、加齢が緑内障にどのような影響を与えるのか、具体的なことはよくわかっていません。

この研究では、視神経を含む目の組織の形の変化を調べることで、年をとった時に緑内障になりやすい人を予測できるようになることを目的としています。そして、それらの人に早期から治療を始めることで、将来見えづらくなるのを防ぎます。研究のため、該当する患者さんのカルテ等の治療データを解析や検討に使用させていただきます。

- ✓ この調査研究は秋田赤十字病院倫理委員会で審査され、承認を受けて行われます。研究の対象となる期間は2023年4月から2027年3月までです。
- ✓ 調査研究の対象は、当院眼科で緑内障の治療を受けた患者さんで、カルテなどに記載された検査データを使用させていただきます。比較のために、緑内障でない方のデータも使用させていただくことがあります。
- ✓ すでに行われた検査データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。
- ✓ データは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ✓ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などで発表されますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ✓ この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- ✓ この調査研究についてデータ使用を希望されない患者さん、また、ご意見ご質問がございましたら、下記の研究責任者までご連絡下さい。

秋田赤十字病院 眼科
研究責任者 澤田 有
TEL: 018-829-5000 (代)